

第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和8年6月23日（火）第5校時

13：25～14：10

対 象 第2学年1組 32名

学校名 墨田区立第一寺島小学校

会 場 3階 2年1組教室

令和8年度 研究主題

学びを深める児童の育成

～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～

- 1 単元名 ここが大すき！！を「大すきカード」で1年生に紹介しよう

教材名 「スイミー」（光村図書 2年上）

並行読書材

「ひとあしひとあし」「フレデリック」「さかなはさかな」「コーネリアス」

「アレクサンダとぜんまいねずみ」「おんがくねずみジェラルディン」

「ぼくのだ！わたしのよ！」「うさぎたちのにわ」「びっくりたまご」

「せかいいちおおきなうち」「ここにいたい！あっちへいきたい！」

「みどりのしっぽのねずみ」「マックスマウスさん」「じぶんだけのいろ」

「マッシュのゆめ」「いろいろ1ねん」「シオドアとものいうきのこ」

（好学社 レオ＝レオニ作 谷川俊太郎訳）

- 2 単元の目標

- ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)オ
- ・「レオ＝レオニ」シリーズを読んでここが大すき！！を紹介するために、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
- ・「レオ＝レオニ」シリーズを読んでここが大すき！！を紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- ・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ	①「レオ＝レオニ」の本を読み、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C (1)イ ②「レオ＝レオニ」の本を読み、ここが大すき！！を紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C (1)エ	①粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝えようとしている。

4 児童の実態

- ・「ふきのとう」の学習では、登場人物が春の到来を待ち遠しく思う気持ちや春を迎えて嬉しく思う気持ちについてマイ吹き出しを使って交流し、想像を広げて楽しんで読むことができた。しかし、登場人物の行動を、叙述を基に具体的に想像することに課題が残った。
- ・「たんぽぽのちえ」の学習では、時間的な順序を考えながら内容の大体を捉えることができた。また、賢いと思う知恵について自分の考えを交流することで、重要な語や文を探すことができた。交流では、相手の話に興味をもって聞くことや、相手の話を受けて質問することに課題が残った。

5 教材について

本教材「スイミー」は、仲間を失ったスイミーが新しい仲間と出会い、知恵を生かして力を合わせながら困難を乗り越えていく物語である。美しい海の世界や、スイミーの気持ちの変化、仲間との協力の大切さなどが描かれている。登場人物の行動や心情が、比喻を使った文章で分かりやすく書かれており、場面の様子を思い浮かべながら読むことができる教材であると考え。また、協力することや知恵を働かせること、逃げずに困難に立ち向かうことの大切さについて気付くことができたり、美しい色彩の挿絵があつたりと、児童が、ここが大すき！！を見付けやすい教材であると考え。

物語を読み進めていく中で、挿絵や叙述を基に想像を膨らませることを楽しみながら、自分のここが大すき！！を見付けることは、自分の思いや考えをもつ学習の初歩となる。児童が想像を膨らませながら物語の世界を楽しんで読み、好きな挿絵や叙述を見付け、登場人物の行動や好きな理由を他者へ伝えていけるようにする。

並行読書材では、教科書教材と同様に、児童が物語の世界を十分に楽しんで読み進め、挿絵や叙述を頼りに自分の好きなどを他者へ伝えたり、その場面の会話や場面を選んだ理由を表現したりしていけるように、同作者であるレオ＝レオニ作のシリーズを用意した。

6 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

低学年	中学年	高学年
言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする子

(2) 研究主題に迫るための手だて

①言語活動の工夫

ア 言語活動

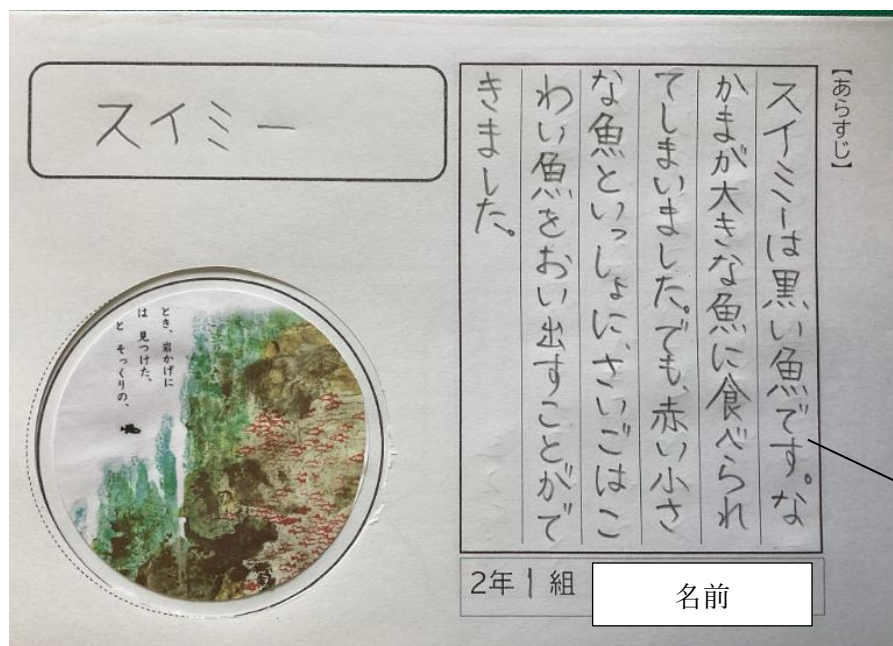
登場人物の行動について、想像したことや好きな理由を友達と交流し、「大すきカード」で1年生に紹介する。

イ 言語活動の特徴

「レオ＝レオニ」シリーズの作品を並行読書材として読み進める。ここが大すき！！と思う場面を見つけ、登場人物の会話や行動を友達と何度も繰り返し交流することで、場面の様子を具体的に想像し、「大すきカード」にまとめていく。挿絵が場面の様子を想像する手立ての一つになるため、言語活動モデルは、大すきな場面の挿絵が常に見えるようにした。単元の最後に1年生に向けて紹介するという場を設けることで、児童の学習意欲へと繋げていきたいと考える。

ウ 言語活動モデル

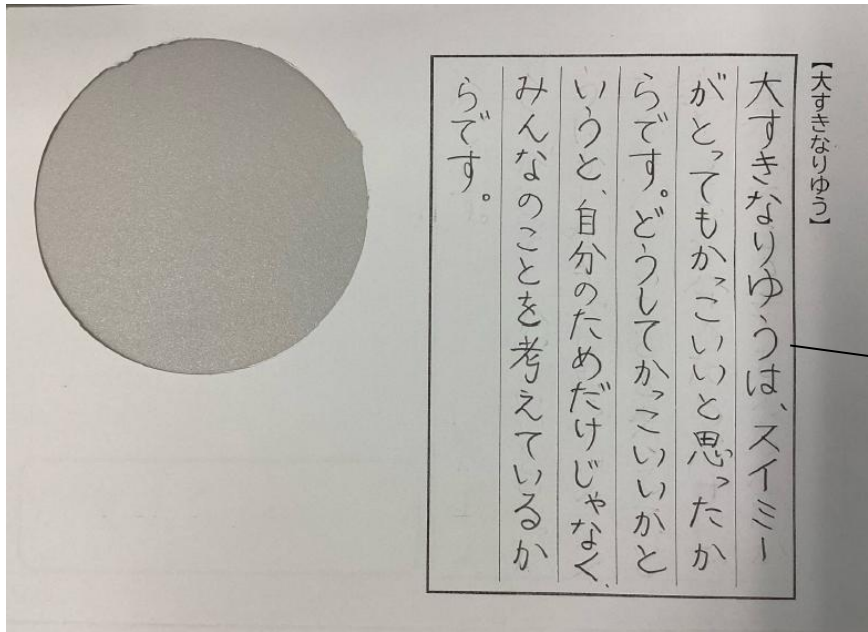
(表面)



ここが大すき！！を紹介するために、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ

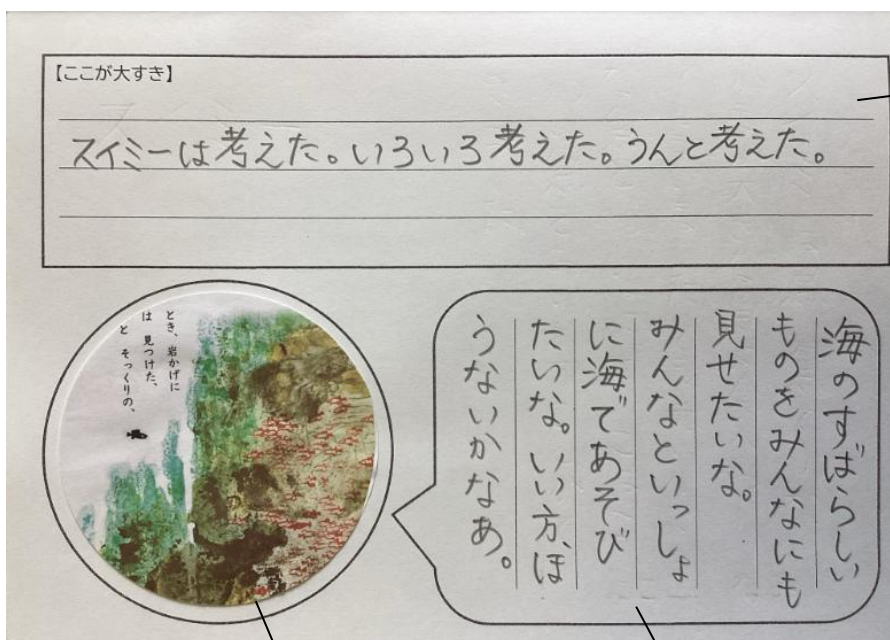
(中面上)



ここが大すき！！を紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。

〔思考力、判断力、表現力等〕
(C (1) エ)

(中面下)



「ここが大すき！！」という叙述を書き抜く。

ここが大すき！！を紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。

〔思考力、判断力、表現力等〕(C (1) エ)

お気に入りの場面の絵（切り抜きで、中面下が見えている状態）

②交流活動の工夫

ア 指導事項との関わり

本単元で重点を置いている資質・能力は、低学年の精査・解釈「『レオ＝レオニ』シリーズを読んでここが大好き！！を紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる」ことである。そのため、大すきな場面の様子を想像するための交流と、大すきの理由をはっきりさせるための交流に分け、教科書教材と並行読書材で各2回ずつの交流を設定した。モデル動画では、「どうして、ここが大好きだと思ったの？」という質問に対し、「このとき、〇〇（登場人物）はどんなことを考えていたと思う？」という言葉を入れ、本文や挿絵から考えられるようにした。また、「ほかに、ここが大好きと思った理由はある？」という言葉を入れることにより、登場人物の行動を具体的に想像する資質・能力を確実に育てられるようにした。

イ 学習経験との関わり

2年生になり、文学的な文章として『ふきのとう』を学習し、おもしろいと思った場面についてマイ吹き出しを使って交流し、カードにまとめる学習を行った。本単元では、児童がなぜ、ここが大好き！！と考えたのかを具体的に交流できるように、以下の点に留意して動画を作成した。

- ・大すきの理由を本文や挿絵から考えられえよう、ページをめくりながら探す様子を示した。
- ・交流する相手が悩んでいるときにページをめくりながら一緒に考えることで、新たな気付きや発見ができることを示した。

ウ モデル動画の台本

★	☆☆	★	☆☆	★	☆☆	★	☆☆	★	☆☆	二人	☆☆	★	☆☆	★																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
え	っ	と	、	今	日	は	、	大	好	き	カ	ー	ド	の	「	こ	こ	が	大	好	き	！	」	の	理	由	を	書	く	た	め	に	交	流	す	る	ん	だ	よ	な	。同	じ	本	を	選	ん	だ	人	と	交	流	し	た	い	な	。あ	っ	、	〇	〇	先	生	が	、	同	じ	本	を	選	ん	で	る	。ね	え	。〇	〇	先	生	、	交	流	し	よ	う	。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
う	ん	・	・	・	そ	う	だ	な	・	・	・	（ページをめくって探す）	い	い	よ	。こ	こ	が	空	い	て	る	か	ら	、	こ	こ	に	座	ろ	う	。	〇	〇	先	生	は	、	ど	こ	を	「	こ	こ	が	大	す	き	！	」	に	選	ん	だ	の	？	わ	た	し	の	大	す	き	！	は	「	こ	こ	」	な	ん	だ	。じ	ゃ	あ	、	い	っ	し	よ	に	読	も	う	。（付箋をもとにページを開く）	「	と	か	げ	よ	と	か	げ	、	ウ	イ	リ	ー	を	ほ	く	み	た	い	な	ね	ず	み	に	変	え	て	く	れ	る	？	〇	〇	先	生	は	、	ど	う	し	て	「	こ	こ	が	大	好	き	！	」	だ	と	思	っ	た	の	？	ウ	イ	リ	ー	を	助	け	た	ア	レ	ク	サ	ン	ダ	が	と	っ	て	も	優	い	い	な	っ	て	思	っ	た	ん	だ	。なる	ほ	ど	。だ	か	ら	「	こ	こ	が	大	す	き	！	」	な	ん	だ	ね	。こ	の	と	き	、	ア	レ	ク	サ	ン	ダ	は	、	ど	ん	な	こ	と	を	考	え	て	い	た	と	思	う	？	う	ん	・	・	・	（ページをめくりながら考える）	こ	こ	で	ウ	イ	リ	ー	と	一	緒	に	遊	ん	で	る	ア	レ	ク	サ	ン	ダ	は	す	こ	く	楽	し	そ	う	じ	ゃ	ん	。だ	か	ら	、	ま	た	一	緒	に	遊	び	た	い	っ	て	思	っ	て	た	ん	じ	ゃ	な	い	か	な	。ウ	イ	リ	ー	が	捨	て	ら	れ	た	ら	、	も	う	一	緒	に	遊	べ	な	く	な	っ	ち	ゃ	う	ん	ね	。ほ	か	に	も	、	「	こ	こ	が	大	好	き	！	」	で	思	っ	た	理	由	は	あ	る	？	う	ん	・	・	・	そ	う	だ	な	・	・	・	（ページをめくって探す）	あ	っ	、	こ	こ	に	「	か	わ	い	そ	う	に	、	か	わ	い	そ	う	な	ウ	イ	リ	ー	」	っ	て	書	い	て	あ	る	。や	っ	ぱ	り	ウ	イ	リ	ー	の	こ	と	を	心	配	し	て	る	ア	レ	ク	サ	ン	ダ	は	優	い	い	ね	。た	し	か	に	。ア	レ	ク	サ	ン	ダ	の	優	い	し	い	気	持	ち	が	伝	わ	つ	て	く	る	ね	。□	〇	先	生	は	、	ど	こ	を	選	ん	だ	の	？	私	は	ね	・	・	・	（付箋をもとにページを開く）

8 単元の指導計画と評価計画（10 時間扱い）

次	時	学習内容・学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
第一次	1	ここが大すき！！を1年生に紹介するための、学習計画を立てよう。 ・教師のお気に入りの本の紹介を聞き、「ここが大すき！！」を「大すきカード」で1年生に紹介しよう」という課題をもつ。 ・学習計画を立てる。	
第二次	2	「スイミー」① 好きなところを探しながら「スイミー」を読もう。 ・「スイミー」を読み、好きなところを見つけてサイドラインを引く。 ・全文シートに付箋を貼りみんなが選んだところを全体で確認する。	
	3	「スイミー」② 「スイミー」はどんなお話か確認しよう。 ・「誰が、どうして、どうなったか」など、お話の大体の内容を交流する。 ・交流したことを基に「大好きカード」にあらすじを書く。	【思考・判断・表現】① 「レオ＝レオニ」の本を読み、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(交流)
	4	「スイミー」③ 「スイミー」のここが大すき！！をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」に書こう。 ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・登場人物の行動を具体的に想像し、ここが大すき！！をはっきりさせるために、マイ吹き出しを使って交流する。 ・相手を変えて何度も交流を繰り返し、大好きな場面を具体的に想像できるようにする。 ・交流したことを基に、ここが大すき！！と、その場面の様子を「大すきカード」に書く。	【知識・技能】① 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(交流・大すきカード) 【思考・判断・表現】② 「レオ＝レオニ」の本を読み、大すきなところを紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(交流・大すきカード) 【主体的に取り組む態度】① 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝えようとしている。(交流・大すきカード)

5	「スイミー」④ ここが大すき！！の理由をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」に書こう。 ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・全文シートの付箋を手掛かりに、相手を選んでここが大すき！！の理由を交流する。 ・相手を変え何度も交流を繰り返し、ここが大すき！！をはっきりさせる。 ・交流したことを基に、ここが大すき！！の理由を「大すきカード」に書く。	
6	「並行読書材」① 好きなところを探しながら、自分が選んだ本を読もう。 ・「レオ＝レオニ」シリーズを読み、好きなところを見つけてサイドラインを引く。 ・全文シートに付箋を貼りみんなが選んだところを全体で確認する。	
7	「並行読書材」② 自分が選んだお話がどんなお話か確認しよう。 ・場面の様子が分かる挿絵にマイ吹き出しを当てて、「誰が、どうして、どうなったか」など、お話の大体の内容を交流する。 ・交流したことを基に「大すきカード」にあらすじを書く。	【思考・判断・表現】① 「レオ＝レオニ」の本を読み、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(交流・大すきカード)
8	「並行読書材」③ 自分が選んだ本のここが大すき！！をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」に書こう。 ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・登場人物の行動を具体的に想像し、ここが大すき！！をはっきりさせるために、マイ吹き出しを使って交流する。 ・相手を変えて何度も交流を繰り返し、大好きな場面を具体的に想像できるようにする。 ・交流したことを基に、ここが大すき！！と、その場面の様子を「大すきカード」に書く。	【知識・技能】① 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(交流・大すきカード) 【思考・判断・表現】② 「レオ＝レオニ」の本を読み、大すきなところを紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(交流・大すきカード) 【主体的に取り組む態度】① 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝えようとしている。(交流・大すきカード)

	9 (本時)	「並行読書材」④ ここが大すき！！の理由をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」に書こう。 ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・マトリックス表を手掛かりに相手を選んで、ここが大すき！！の理由を交流する。 ・相手を変え何度も交流を繰り返し、ここが大すき！！の理由をはっきりさせる。 ・交流したことを基に、ここが大すき！！の理由を「大すきカード」に書く。	
事後	10	「並行読書材」 ここが大すき！！を1年生に紹介しよう。 ・完成した「大すきカード」を使って、1年生に選んだお話と大好きな場面を紹介する。	【主体的に取り組む態度】① 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場면을伝えようとしている。(紹介)

9 本時（全 10 時間中の第 9 時間目）

（１）本時の目標

並行読書材のここが大すき！！の理由をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」にその理由を書くことができる。

（２）本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (5分)	1 単元のゴールを確認する。	・単元のゴールを明確にするために、言語活動モデルと学習計画表を確認する。	
	2 前時の学習を振り返る。	・並行読書材のここが大すき！！をはっきりさせるため、マイ吹き出しを使って交流し、カードに書く活動をしたことを振り返る。	
	3 本時のめあてを確認する。	・モデル動画を見て、交流の見通しをもたせる。	
（並行読書材） ここが大すき！！の理由をはっきりさせるために交流し、「大すきカード」に書こう。			
展開 (37分)	4 ここが大すき！！の理由をはっきりさせるために、交流する。	・並行読書マトリックス表を活用して、同じ本を選んだ友達や考えを聞いてみたい友達等、意図的に相手を選んで交流させる。 ・叙述や挿絵を基に想像したことを理由として交流させる。 ・交流が停滞しているペアには、教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、「どの文から、そう思ったの？」「ほかにも、理由になりそうな文と一緒に探してみよう。」など、本文や挿絵を基にして交流ができるよう促していく。	【思考・判断・表現】 「レオ＝レオニ」の本を読み、大すきなところを紹介するために、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（交流・大すきカード） 【A基準】 叙述を基に自分の考えを伝えたり、相手の考えに質問や付け足しをしたりしながら交流している。
	5 交流したことを基に、ここが大すき！！の理由を「大すきカード」に書く。	・「大すきな理由は・・・」という書き出しの文を提示する。 ・交流したことを思い出させるため、書く前に声に出すよう促す。 ・児童が書き方を参考にできるよう、教師が作成した見本をロイロで見られるようにしておく。	【B基準】 自分の考えを伝えたり、相手の考えに質問したりしながら交流している。 【B基準に達しない児童への手立て】 教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、会話の例を一緒に考える。
まとめ (3分)	6 本時の学習を振り返る。	・本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	